

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)									
事業名	大学生の就業力育成支援事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者			
事業開始・終了(予定) 年度	平成22年度・平成23年度		担当課室	専門教育課		専門教育課長 内藤 敏也			
会計区分	一般会計		施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」(平成22年9月10日閣議決定) 「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	○現在の厳しい雇用情勢の下で学生の卒業後の就業につながる資質能力の向上のため、産業界との連携による課題解決型授業などの優れた取組を支援し、学生の卒業後の社会的・職業的自立につながる就業力を身につけさせる。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○大学内組織の有機的な連携による全学的な体制の下で、実学的専門教育を含む教育課程内外における体系的な教育を行うことを通じて、学生の卒業後の社会的・職業的自立の基礎を培う。 ○公募制により、国公私立大学を通じ競争的に選定し、支援(定額補助100/100)。支援期間は原則5年間。選定件数180件(緊急経済対策(平成22年9月10日閣議決定)において、「就業力育成のための大学の取組を強化する。」とされたことを踏まえ、選定取組を当初予定130件から拡充)。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		補正予算	—	3,036	2,875	—	—		
		繰越し等	—	0	0	—	—		
		計	—	—7	7	—	—		
		執行額	—	3,029	2,882	—	—		
	執行率 (%)	—	※1 3,087	2,866	—			—	
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
取組の参加学生数		成果実績	人	—	77,299	190,587	—		
		達成度	%	—	—	—	—		
大学等における職業意識の形成に関する授業科目の開設率		成果実績	校	—	134	175	—		
		達成度	%	—	74.4	97.2	—		
大学・短期大学の全卒業者のうち、就職も進学もしない者の割合		成果実績	人	—	1,559	4,334	—		
		達成度	%	—	16.7	12.1	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	プログラム実施数	活動実績 (当初見込み)	件	—	180	180	—		
				—	(130)	(180)	(—)		
単位当たりコスト	16(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト ＝平成23年度補助金額(2,865百万円)/プログラム実施数(180件)					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	計								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は「新成長戦略実現に向けた3段階構えの経済対策（平成22年9月10日閣議決定）」、「新成長戦略（平成22年6月18日閣議決定）」において、大学生の就業力を向上させるための支援プログラムの充実が明記されるなど、政策の優先度が高い事業であり、厳しい雇用情勢の下、学生の卒業後の職業への移行を支援するため、就業力の向上が求められていることから、国において支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は公募を行い有識者からなる選定委員会において選定を行うことで競争性を確保している。また、経費の執行に関して、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等により、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 なお、1大学あたりのコストの縮減（平成22年度：17.1百万円→平成23年度：15.9百万円）にも努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業では大学等で職業意識の形成に関する授業科目が数多く開設されるなど、就業力を向上させるための取組が推進されている。 また、本事業の取組は各地域ごとの会議、HP等で広く情報発信が行われている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
	・本事業により大学等では職業意識の形成に関する授業科目が数多く開設されるなど、就業力を向上させるための取組が推進されている。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行い、事業の適切な実施に努めている。 ・本事業については、事業仕分けにより平成23年度をもって廃止とされた。		
予算監視・効率化チームの所見			
		本事業は、過去の事業仕分けの評価を踏まえ、平成23年度をもって廃止している。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
※1 重点的な支援の観点から、年度内に同一補助金内から流用増して執行。 事業仕分け 平成22年度 第3弾 「事業番号」：A－26(2) 「評価結果」：国の事業として廃止 「とりまとめコメント」：いずれの事業も本来、大学の業務であり、このような補助を行うことは認められない。3事業とも廃止と結論とする。 継続事業についても相当メリハリをつけ、踏み込んで、早期に廃止していただきたい。 ※この評価結果等を踏まえ、本事業は平成23年度で廃止した。 大学生の就業力育成支援事業HP http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/shugyou/1292891.htm			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	0145

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

文部科学省
2, 866百万円

諸謝金	0.03百万円	} を含む
職員旅費	0.3百万円	
委員等旅費	0.1百万円	
庁費	0.4百万円	

本事業は、大学・短期大学において、大学内組織の有機的な連携による全学的な体制の下、入学から卒業までの間、実学的専門教育を含む体系的な指導を行うことを通じて、学生の卒業後の社会的・職業的自立が図られるよう、教育改革の取組を国として支援。



【公募・補助】

A.大学・短期大学
(全180機関)
2, 865百万円

(産業界等との連携による実学的専門教育を含む、学生の卒業後の社会的・職業的自立に向けた新たな取組を実施)

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.新潟青陵大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	専任教員、特任教授、調査役、事務補佐員	17			
	その他	設備備品費、旅費、インターンシップ 関連経費、消耗品費、通信運搬費	4			
	計		21	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.大学生の就業力育成支援事業

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新潟青陵大学	ケアから社会を学ぶ、青陵マインドの涵養	21	－	－
1	豊橋創造大学	「持続型職業人」SOZOプロジェクト	21	－	－
1	大手前大学	学生別コンピテンシー伸張の可視化	21	－	－
1	大阪音楽大学	事実にもとづく日本語ライティング能力	21	－	－
5	京都産業大学	専門教育と協働したコーオプ教育の全学展開	19	－	－
6	三重大学	自他共に成長を目指す幅広い職業人の養成	18	－	－
6	広島修道大学	”修道力”を育てるための教育体系構築	18	－	－
6	福岡工業大学	「4つの力」育成によるキャリア形成支援	18	－	－
6	法政大学	就業力を育てる3ステップシステム	18	－	－
6	愛知東邦大学	「地域連携PBL」を核とした就業力の育成	18	－	－
6	京都学園大学	成長確認型人材「協育」プログラムの展開	18	－	－
6	青山学院大学	青山スタンダード教育による就業力育成	18	－	－
6	お茶の水女子大学	女性リーダーのためのコンピテンシー開発	18	－	－
6	関西学院大学	社会との接点から自己を磨き高める就業支援	18	－	－
6	名古屋商科大学	NUCBフロンティア力を通じた就業力育成	18	－	－